

# 群馬菱の実会だより

**菱の実会 秋の親睦旅行 平成15年10月22日(水)、23日(木)**

## 『箱根めぐりと西伊豆戸田温泉』の旅〈報告〉

今年の旅行は、都合により欠席があり大型バス定員の45名（会員、会社、組合関係者を含め）の参加となりました。

当日は朝から雨でしたが、途中のJR熊谷駅で4名の方々が合流し、楽しいバス旅行がスタートしました。白糸の滝を見学する予定でしたが、雨のため見学を中止して次の目的地、韮山反射炉へとバスを進めました。韮山反射炉では、店の主人が、韮山の反射炉建築の背景や歴史、構造などについて詳しく説明をしてくれました。特に“反射炉”と呼ばれるのは“何でだろう”と皆さんの興味が集中していたようでした、現物を見ながらの説明で全員が納得。

翌日は雨もあがり、絶好の行楽日和となりました。途中でお土産を買い、芦ノ湖では湖尻からロープウェーを乗り、まだ紅葉にはやや早い山々を眺めながらの大涌谷までの空中散歩を楽しみ、その後、芦ノ湖を遊覧船で移動、途中、冠雪をいただいた富士山を遠方に見ながらの楽しい船旅でした。バスの中、懇親会、そして風呂の中といろんな所で旧交をあたためあった、楽しい2日間のバス旅行でした。



## 第32回(夏季) グラウンドゴルフ大会

今回は『グラウンドゴルフと温泉三昧』ということで、国民宿舎『サンレイク草木』の日本グラウンドゴルフ協会認定のコースで行なわれました。当日の参加者は22名でした。

順位	氏名	HD	スコア	1打	2打
優勝	福田 興司	0	83	1	12
準優勝	長嶺 元	6	84	1	11
3位	新島 政三	3	88	1	11
4位	加藤 勝司	3	88	1	10
5位	長嶺 美恵子	6	85	1	10
6位	高井 宏	1	90	1	8
7位	小堀 鳩	1	91	1	11
8位	村岡 勉	1	94	2	9
9位	荒木 黙	0	98	1	8
10位	小此木 光二	2	93	1	8

## 会員投稿 『華麗なるヨーロッパの旅 その3』 尾島町 関口 宏

ラインで最も巨大な城「シェーンブルク城」、オーバーベーゼルの街の高台にそびえ、現在は、古城ホテルとレストランになっている。ローレライで知られる伝説の岩、ライン隨一の難所で船の遭難が絶えず、妖しい歌で人を水に誘い込む魔性の乙女の伝説で知られた、ハイネの詩で有名な所。こここの断崖の上にも国旗が、輝いていたのが印象的だった。

船の中で小学校3~4年生の遠足帰りの一団と、乗り合わせた、からかうつもりで、一人の男子生徒に、片言で、どこの国の人か分かりますか?と、話したつもり、即返答でチャイナー、日本人であることの自尊心を傷付けられてしまった。やがて船はザンクト・コアレスハウゼンに到着。2時間10分の乗船でした。ここで、土産店の一つに、日本人女性が嫁いでいた。地下室に案内され、ワインの試飲ののち、ここザンクト・コアレスハウゼンを11時30分に出発したバスは、2時間後ハイデルベルクに到着。ドイツ最古のハイデルベルク大学、ネッカー川に架かるドイツ最古の鉄橋ツムリッター、プアルツ侯の居城だった小高い丘の上に建つハイデンベルク城、裏庭のバルコニーからの眺めは素晴らしい、どの家の屋根も、オレンジ色、ネッカー川を通る船は真下に、パナマ運河同様、落差をうまく利用した閘門式行路に入っている船。ドイツで一番の箱庭のような眺めだった、階段をおりて地下へ下ると、直径4~5メートル、長さ5メートルもあるビアダルが、中世当時のままおかれている。第二次大戦で戦火で被弾し、大部分が壁のみを残したこの城、トイレも有料でした。16時30分にここを発ち、古城街道(ロマンチック)進んでローテンブルクに着いたのが19時05分(2時間35分)この時期日没が22時なので、各自で城壁内へ入った、城壁の高さは10メートルで所要2時間の観光コースがある広さ市内の家々や細い路地、目に映えるどれもが中世当時の人々の生活そのもの、二頭立て乗合馬車の蹄の音、ドイツが舞台となったキリスト教分裂のカトリックとプロテントの各教会が仲良く城壁内に存在している。コボルツエア門、マルクト広場、市庁舎、宴会堂、正面の仕掛け時計、中世犯罪博物館、世界に一つしか無いクリスマス専門店。ここを後にしたのが翌日の11時30分、一路ネトルリンクエンへ13時15分到着、ここも城壁の街、街の中央にそびえ立つ教会のシンボルの塔ダニエル、高さ90メートル総てが石作り、螺旋階段に挑戦したのち、街中を散策、世界に誇る縫ぐるみの街。ここは、1千百年の歴史をもつ町で、城内は南北2キロメートル程で、殆どの店が土産店、日本の大手百貨店、スーパーはここに、仕入れに来るとか聞いた。

ネトルリンクエンを15時20分に発った、車窓より見る風景は赤松林が点在し、広々とした耕作地と牧草地が続く、2時間半程してミュンヘンのホテルに到着した。ミュンヘンと言えば、ビールの町、1940~50年代には、かつてのヒットラーもよく通ったと言われた大ビアホール「ホフブルウハウス」アリーナ風の客席の中央に設けられた舞台、ここからは、ナツメロ風のがきがきした合唱、と合奏、指名された人が自分の国の言葉でその国の歌を歌う、600人の客、予約なしでは入れないとの事。ドイツ料理と大ジョッキー5~6杯を平らげ、時間も23時を回ったが、いっこうに客は減らない。翌朝ホテルを出た2時間半後(10時30分)、着いたのがディズニー・ランドのモデルとなった、「ノイシュヴァンシュタイン城」。もう、ここはオーストリアの国境まで2時間の所。バス停より馬車又は徒歩で5分、城の裏側がよく見える吊り橋「マリーオ橋」、高さ92メートルから見る城はとても素晴らしい、遠くにはアルプゼ湖が映える。

マリーロ橋から徒歩15分で城の玄関前につく、途中、眼下に「ホーエンヴァンガウ城」が、アルプゼー湖に映てみえる。ここで入場待ち一時間、500人もの人波で広場が、うめ尽くされている。並ぶ場所には、ポールが付けられ、1、欧米 2、日本 3、韓国 4、中国 5、その他、の順番だった、各国を50名位づつ、づれて順番が回ってくる、後に気が着いたのだが、城内を説明するスピーカーが各国語単位で流す関係からであった。

19世紀に18歳で即位した若きバイエルン国王、ルートヴィヒ二世が作曲家ワーグナーに傾倒し情熱と国費を注ぎ込んで建造(1869~1886)、内部各部屋は、豪華、絢爛の一言、城内は2/3は未完成のまま、玄関ホール、王座の間、バルコニー、食堂、寝室、礼拝堂、化粧室、居間、書斎、歌人の間、何度見ても、もっと時間を掛けて見たい程だ。余談ではあるが、登山家がリュクに付け、ガラン、ガランの音を出すベル(Cow-bell)は世界中ここしか、売っていないとか。城をでたのが15時、ここからは、しばらく丘陵地、なだらかな牧場の中を、道は大きく小さく、カーブしながらアルプスへと坂道を登る、やがて2時間を過ぎるころ、オーストリアとの国境に差しかかった、ごく普通の町中、道路の右側がオーストリア、左側がドイツと言う状況、ただ通行する車両は厳しい検問を受ける。このため車の列が続く、しかし欧米と日本人は、運転手の差し出す証明書一通でパス出来る。韓国人の乗ったバスは、国境警備隊が乗り込み全員パスポートの提示と臨検がおこなはれる。

しかし、この国境は物々しい警備で車窓から、ガラス越しに外を見るのさえ、厳しさを感じた。近くのオーストリア側には自動車販売店の黄色の昇り旗と、国旗がなびき、ここはやはりオーストリアである事が、実感された。近くをライン川が、美しく流れを作っていた、間もなく、小国、リシテンシュタインに到着。18時丁度、ここは首都フアドウツ。外交をスイス国に依頼し候家を長にした立憲君主国。通貨、電話もスイスと共に、公用語はドイツ語。観光客相手の「切手」がこの国の重要な収入源、観光客で飯を食べている国。一方を絶壁にした山の上に候家が居宅を構え、国旗をなびかしている。ちょっと頭をかしげたのは、普通自動車のナンバープレートの色。文字、数字が白でバックのプレートが黒色(濃紺)、日本とは逆さまだった。

スイス リシテンシュタイン国はスイスの一片の様なものでここからは、アルプスの尾根、谷間大きな湖の回りを迂回しながら走る。山も多いが湖も多い、どうして、あんなに高い急傾斜の所に数軒の集落が有る、道路からは遙かかなたの山。こんな風景が3時間も続いた。着いた、ここがヨーロッパからの玄関の街インターラーケン、標高1,332メートル、屋根の有る橋は幅4メートル長さ100メートル川の両岸には、レストラン、カフェが道路の半分まで、テーブルや椅子を並べ、観光客で賑やっている。夕食は、スイス名物のミートフォンデュ、各自が食卓の上でチーズを溶かした中に、金串に牛肉を差して、この中で熱して食べるスイスらしい料理である。翌日は7時45分には出てバスはグリンデルワルト標高1034メートル迄40分、ここからは登山電車である。グランドスイッチバックそしてクライネシャイデックに1時間20分(標高2,061メートル)ここで別の登山電車に乗換、1時間後ユングフラウヨッホ(3,454メートル)到着後、3~4分歩いてアレッチ氷河のトンネルの中へここからエレベータで、展望台へ(標高3,500メートル)気候は残念ながら曇り、時々小雪、アイガー3,970メートル、メンヒ(4,099)ユングフラウ4,150、の三山を仰ぎ見る。眼下にはヨーロッパ最大のアレッチ氷河の壮大な曲線を見る。(来月号につづく)

## ◆おしらせ◆

## 1. 11月の囲碁愛好会

◎例会：11月10日（月） 9:30～ ◎会場：赤城俱楽部

◎例会：11月17日（月） 9:30～ ◎会場：赤城俱楽部

## 2. 11月の麻雀会

◎日 時：11月21日（金） 10:30～17:00 ◎会 場：赤城俱楽部

◎申込：11月18日（火）迄、長嶺(38-0685)、小此木(56-0512) ◎会費：2,000円

## 3. 第33回（秋季）グラウンドゴルフ大会

◎日 時：11月25日（火） 9:30～ ◎会 場：利根グラウンドゴルフ場

◎会 費：500円 ◎申込：11月19日（水）迄に事務局へ

◎その他：小雨決行、雨天中止

## 4. 12月のパソコンサークル

◎日 時：12月1日（月） 14:00～16:00

◎会 場：労組事務所（ご希望の方はご自由にご参加ください）

## 5. 12月のカラオケ月例会

◎日 時：12月1日（月） 17:30～20:30

◎会 場：カラオケ本舗「まねきねこ」尾島町安養寺27-3 Tel 0276-52-3450

◎申込：愛好会役員（長嶺 元さん Tel 0276-38-0685）11月26日（水）までに

## 6. 次回の編集委員会・幹事会（会場：組合会議室）なお、都合の悪い場合は事務局まで、忘れずに連絡をお願い致します。

◎編集委員会 11月25日（火） 13:30～

事務局まで、忘れずに連絡を

◎幹事会 12月 1日（月） 16:00～

お願い致します。

## 訃報

高柳 直孝さん（太田市 享年63歳）は10月13日、病気のためご逝去されました。  
ご冥福をお祈りするとともに、お知らせ致します。

## 編集後記

◎恒例になりました秋の親睦旅行は、会員42名、労組・荻原書記長、会社・眞田CS、岩松事務局を加え、総計45名で無事行われました。

久し振りの再会にバスの中、宴会で酒、カラオケ等で、一段と弾みがつき酒の追加、追加と大騒ぎ、山海の味覚を満喫した。次回の再会を約束し、楽しい旅行を出来たと思います。

◎スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、例年のこと毎晩ナイターを見ていたのになくなると、テレビがつまらない、酒を飲みながら旅番組をみています。皆さんのお秋はどんなふうに？

（村岡 記）

発 行 発行責任者 伊沢 昭一郎 三菱電機労働組合群馬支部  
2003-11-4 No. 127 編集「菱の実会だより」編集委員会 TEL 0276-52-3874

とても素晴らしい、遠くにはアルプゼ湖が映える。

（>てこひ月来） るるも